

レnga堤防の残る旧羽田獵師町から呪いの大鳥居へ

日時:2016年11月9日(水) 天候:曇りのち晴れ

集合:京急空港線 大鳥居駅10時30分

コース:大鳥居駅→権助橋跡(南前堀緑地)→自性院→羽田神社→正蔵院→大谷政吉商店(佃煮)→羽田の渡し跡→多摩川旧堤・船溜まり水門→旧羽田獵師町の小路→鷗稻荷神社→玉川弁財天→五十間鼻→鈴木新田跡・羽田大鳥居→白魚稻荷神社→海老取川堤→穴守稻荷神社→京急穴守稻荷駅(解散)

参加者:平嶋(L) 吉越 戸田 平石 熊坂 仲 小野里 青松秀 佐藤繁 中村年 小林 山内 市村 平林勝 志村 山本 武倉 青松美 小島 計19名

案内予定の山岡先生が体調不良で不参加となったため、この多摩川沿いには土地勘のある私が道案内をすることになりました。予報通り朝から北風が強く、これが平年よりやや遅い木枯らし一号になったようです。集合場所の京急大鳥居駅は地下化となって以来初めてのことであり、西口と東口と二カ所あることが分からず、どちらが集合場所なのか皆さん迷っていました。まずは駅から細い商店街を抜けた場所で、権助橋の跡と羽田道の碑を確認し、自性院・羽田神社・正蔵院を拝観、そこから旧多摩川堤防跡に沿い、120年の歴史がある佃煮の製造直売所大谷政吉商店でお買い物タイム。多摩川サイクルロードに出て羽田の渡し跡碑から旧羽田獵師町を巡り、河口では頻繁に着陸する旅客機を眺めながら、呪いの大鳥居で集合写真を撮りましたが、果たしてその呪いが我々について来ないか心配でした！最後は穴守稻荷で今日のコースを振り返り締めとしました。昼頃からはやっと青空が広がって陽射しも出て来ましたが、それにしても強風が吹き荒れた寒い一日でした。

<フォトレポート 小島>



これが呪いの大鳥居。この場所は“サイクリストの聖地”でもある空港を望む海老取川河口です。確か撮ったのは18人のはずですが・・・知らない顔が覗いているような！これ呪いかも～～



冷たい北風の大鳥居駅西口。綺麗になったものです。



産業道路と環八との交差点。昔は開かずの踏切でした。



“完全防寒”の平嶋しから本日の説明です。



改札横の場所は若干風が避けられました。



この場所が権助橋跡。ここには羽田道が通っていました。



南前堀緑地のレンガ造りポンプ場跡。



自性院に入ります。これは牛頭天王社。



皆さんが見上げる牛頭天王社の軒下には・・・



見事な弁財天の彫刻が施されていました。(中央部分)



すぐ隣には羽田神社がありました。



ここには初めて来ましたが結構立派な本殿です。



裏手には羽田富士と呼ばれる小山が。



宝珠に水をかけお願を。良縁！安産！～誰？



信心深い人にはご利益も。



広い境内には様々な神社が。



何やら真剣な話のようで・・・

※羽田神社：鎌倉時代の創建。羽田の総鎮守で羽田の氏神様として、航空各社の航空安全祈願でも知られています。



最後は正蔵院に。3社の中では地味な存在です。



本殿も静かに佇んで。真鶴石の石積は何処だっけ？



創業120年を誇る佃煮の老舗大谷政吉商店。ここは製造工場直売所で、江戸前の魚介類を使用しています。私もよく買いに来る所で、特にここの「若炊きあさり」は絶品で各賞を受賞しています。つい先日も買いに来た折に、大谷京子社長にこの日の事を話しておいたので、全員にチョッピリオ土産がつけましたが、結構皆さんお買い上げ頂いたようで有り難うございました。あ、但し私とこの店とは何ら“裏の関係”はありませんので念のため！



レンガ造り旧多摩川堤防跡。当時はこの下まで多摩川の流れがきていました。



産業道路が通る大師橋です。対岸は川崎市。



旧堤防に沿って。左は船溜まり水門となっています。



土手の上に羽田の渡し跡の碑が建っています。



その横には旧大師橋の橋脚部分が残っていました。



ここが鷗稻荷神社。門前は羽田道でした。



この辺りは旧獵師町の中心になります。



かつての多摩川河口での漁の風景。



これは漁師の家の様子でしょうか。

(Web サイトより)



何となく雰囲気漂う路地です。



最近古い家も建て直されていま風な住宅街に。



玉川弁財天・水神社。かつては三大弁天の一つでした。



現在の堤防上を歩く KWC 一行。青空も広がって。



海老取川河口の五十間鼻に建つ無縁仏堂。



火伏の神様白魚稲荷神社を見て・・・



裏側から穴守稲荷神社に入ります。



稲荷といえばこの赤い鳥居ですね。



立派な本殿ですが誰もお参りしないの？



何となく腰が引けているカメラマンが一人！



境内にはヨシズ張りの出店も。



奥には何故か山岳信仰の御嶽神社がありました。



こちらが正面参道ですが、KWC はここから出ます！



京急穴守稲荷駅。ここも綺麗になりました。

※今日歩いた辺りには昔「羽田獵師町」という町名がありました。海水と淡水が混じりあい、中世の頃から漁業が行われていたようで、江戸時代には御菜八ヶ浦として保護され、新鮮な魚介類は徳川家に献上されていました。大正2年に鉄道が開通すると、海水浴や潮干狩りにとレジャー客で賑わいましたが、昭和6年に東京飛行場（現羽田空港）が開港するなどで、東京湾の埋め立てが進み、昭和37年には漁業権を放棄、長らく続いて来た海苔の養殖もその幕を閉じました。ただ羽田の漁業は終わったわけではなく、現在もアナゴやボサエビの漁が続けられ、羽田の味は地元の料理店にも提供されています。

(大田区 HP より一部抜粋)

END